

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

施設名	岡山県青少年教育センター閑谷学校
施設所在地	備前市閑谷784

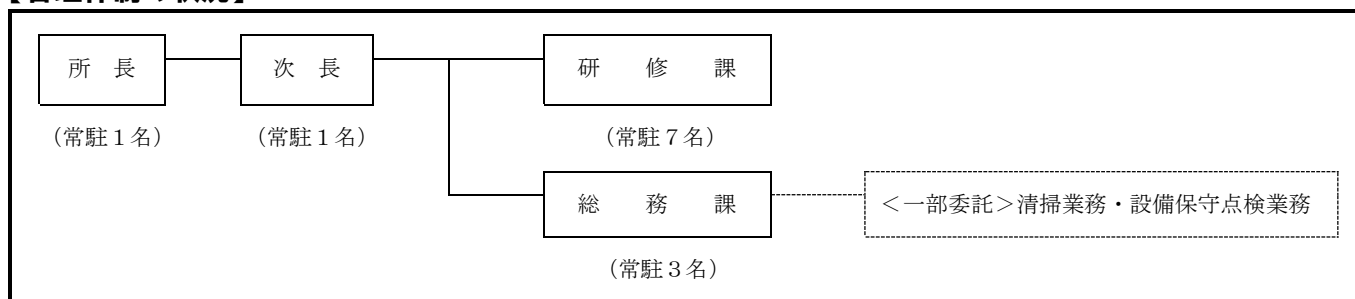
【指定管理者の概要】

名 称	公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会	代表者	理事長 國友 道一
所在地	備前市閑谷784		

【指定管理の概要】

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
管理業務の内容	・センターの施設等の維持管理に関すること。 ・センターの施設等の利用の許可に関すること。 ・センターの運営に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		施設利用			合 計
許可 件 数	6年度	291			291
	5年度	297			297
	増 減	△6			△6

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	・維持運営業務 ・保守点検業務 ・清掃業務 ・警備業務
施設利用許可業務 (4月～3月)	施設利用 (291件) 〔内訳〕 小学校 32件 中学校 69件 高等学校 21件 大学・一般 169件
自主企画事業	計13事業 〔主な内容〕 ・グリーンズの集い ・森のようちえん ・ネイチャー体験 ・閑谷マルシェ ・キャンプ (春・夏・秋・冬 年4回) ・このゆび☆とまれ (年2回) ・宿題合宿in閑谷 (年2回) ・キッズチャレンジキャンプ 等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	施設使用料			合 計
収 入 額	7,318,532			7,318,532
利用件数	291			291
減 免 額	175,100			175,100
減免理由	要保護又は準要保護の認定を受けている児童生徒等			

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		6 年度	対前年度増減額	5 年度	備 考
収 入 額 A		98,879,390	3,820,273	95,059,117	6 年度収入額 その他の主なもの ・ 預金利息 7,486円 【主な増減内容等】 (収入) ・ 指定管理料のうち 賃金及び物価の上 昇に応じた増額分 3,355,828円 (財源は全額国庫) ・ 利用者増加に伴う 施設利用料及び 研修収益の増 783,337円 (支出) ・ 利用者増加に伴う 光熱水費の増 1,383,499円 ・ 賃金上昇に伴う 人件費の増 448,699円 ・ 利用者増加に伴う 事業費の増 1,023,457円
内 訳	指定管理料	85,409,828	2,970,828	82,439,000	
	利用料金収入	7,318,532	612,007	6,706,525	
	事業収入	6,143,544	230,079	5,913,465	
	その他	7,486	7,359	127	
支 出 額 B		98,878,180	3,820,863	95,057,317	
内 訳	人件費	48,695,876	448,699	48,247,177	
	管理運営費	42,488,303	2,348,707	40,139,596	
	事業費	7,694,001	1,023,457	6,670,544	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		1,210	△590	1,800	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		82,054,000	△385,000	82,439,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿って適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B	関連法令に基づく義務が適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルに基づき、安全性を確保した管理運営が履行されていた。
	④財産の適切な 管理	B	施設・設備の紛失等はなく保守管理等の適切な管理が履行されていた。
導入 効果	①利用状況	B	大学への誘致活動等の結果、利用者数が1,000人程度増加した。 【利用件数】 R6： 291件 ← R5： 297件 【うち大学生】 R6： 16件 ← R5： 9件 【利用者数】 R6： 28,123人 ← R5： 27,097人 【うち大学生】 R6： 1,607人 ← R5： 561人
	②収支状況	B	事業計画に従い効率的な事務執行がなされていた。
	③サービス向上	B	利用者アンケートの活用、研修プログラムの検討、指導方法の見直しを行い、よりよい研修となるよう研修主催者へ助言を行い、サービス向上に積極的に取り組んだ。
管理運営業務全般		B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上の取組もなされた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。
 C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。